
行く末

鍛冶屋長次郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
行く末

【Nコード】
N8277D

【作者名】
鍛冶屋長次郎

【あらすじ】
最近の世界動向から見て世の中がどうなるのか自分のやるべき事はなんなのか

原油の高騰、アメリカのサブプライムローン、中国の餃子、税金、その他、いろいろな問題があります。

けど、いつの時代も問題が無かったわけではありません、1つずつ解決したり、先送りしたりなどして 今日にいたってゐるのではないのでしょうか？政治というのは、国、世界、この2つは話が大きすぎてピンと来ないかも知れないが、みじかな所でも政治はある。

例えば、町内、学校、会社、まだまだあるはずです。

町内でも催し物があつたりしてた出席するか、しないかによっては、付き合い方もかわるのでは無いでしょうか？ 学校でも、仲間ハズレ、シカトなどがあるでしょう。

また、先生達の中にも有るでしょう。

このような事を、イジメというのでしょうか。

会社でも、ノルマがこなせない、不具合を起こすなどで肩身を狭くしてる人も居るでしょう。

しかし、会社というのは、業績を上げないといけません。

と、なるとノルマがこなせない、不具合を起こす人は要らないのか？ 必要無いのか？いや、けして、そうではありません、自分がみんなの為に出来ることもあるはずです、それは、場の雰囲気や和ませたり、目に見えない潤滑油だったり、これは、すぐお金には繋がらないかもしれないが、必要な事だと思います。

仕事を進める上では、段取りよくしないと、先が詰まりきつなくなるけど、ときと場合によつては、先に、あらあら形にして、今やらなくても支障が無いものは後回しにすることもあると思う、政治の世界でも、とりあえず、国交回復して、懸案交渉は後回しという、アデナウワー方式という物も、ある様だ。

今進める上で何を、優先するか、後回しにするか、見極めが大切だろう。

それには、先を見る目、柔軟な思考力、プランニングを立てる力、この力の中には、人を右なら右、左なら左に向かせる力も入ると思う。

しがらみの中で、十分実力を、発揮出来ないこともあるだろう、顔色を伺ってやりたい事の半分も出来ない事も有るかも知れない、勉強が難しい、仕事をうまく事覚えられないと言っても、やはり、人間関係がかなりの確率で難しいでしょう。

人間関係とは？ 集団生活の中で規律を重んじら無いと、統制が取れない、しかし、みんなが、同じ方向を見て、同じレールの上で同じ目標を持っていれば、そんなに、細かく規律重視にしくなくても良いかもしれない、アリの世界でも、色々な役割分担があるが、働きアリのなかでも、何もしないで動き回ってるアリも居るようだが、会社の中でも、一生懸命頑張ってる人と、それなりに、怒られない程度に仕事をしてる人とは、何らかの格差を付けないと納得できないと、言う人も居るだろう。

今、格差社会と言われているが、国単位ではあまり良くないが、学校、会社ではある事だ。

進学コースに入ったのに、勉強についていけず落ちこぼれる、出来るヤツと、出来ないヤツの差が出来る、これは、どうだろう？自分の身の丈にあつた学校に入れば落ちこぼれずにすむかも知れないが、それでは、その人の高みに近づけないかもしれない。

将来自分のやりたい事で、飯食つて、生活出来るならそれに越した事はないが、そんな人は、どれほどいるでしょう？現実問題、生きて行かなければ、いけないので仕事をやり始めたら大概の人は、真面目に仕事をすると思います、そこで、一生懸命頑張ってる人と、それなりに、怒られない程度に仕事をしてる人とは、格差が付いて当然だ。

さて、その格差を、どの基準で、だれが、判断するのか？ 直属の上司、役職、一般社員、大抵は、直属の上司かな？町内や、学校も方針に従えないと、異端児扱いされると感じます、しかし、その方

針も、何時から始まり、どの程度先を見越してるのか？少なからずとも、上に立つ人間は、世の中の動向を見極めなければならぬだろう、そうした上で、スタッフと協議の上で、方向を決めるのが一体感が出来て良いのではないだろうか？何時の時代も、上に立つ人は、藩屏をもたないと、うまい事進まないかもしれません。

よつぽど、カリスマ性が有り、たたぎあげで、上に立った人なら、それなりに人は付いて行くかもしれない、しかしそれも最初のうちだけでしよう。

異端児とは？世の中には色々な世界がある、その流れや方針、又は上司の命令などに従えない人の事を異端児というのか？流れ、学校でも会社でも時代の移り変わりという流れがあると思う。

その流れはただ身を任せればいいと言うのではなく、泳ぎ切るというガッツが武器だ、武器を持ってない人はただ流されるだけ、時代の流れに翻弄されるだけ。

方針、原則や方法は確かに大切だ、これらが無ければ方針は立たないだろう、しかし物事が進むにつれてこれらを何処まで守っているだろう。

守り過ぎるとそればかりに気を取られ前が見えない事もあるかもしれない。

上司の命令、これは絶対だろう、だろうとは必ずしもそうでは無いからだ。

何故なら命令を出す上司が信用できるか否か、それによってはヘマをした時、責任だけ押し付けられる場合もあるだろう。

とかくこの世の中、能力が無くてもゴマすりで上に上がった人はごまんといるだろう。

そんな人が上司だと部下はキツイし、先行きは長い事ないだろう。これらの事をひっくるめて考えると、異端児とは先の事を考え、今、現時点の進め方があっているのかどうか？柔軟な思考能力を持っている人が結構いるんじゃないかな。頭の柔らかい人が上に立っていれば異端児の意見を聞いて、最良の策を見出すだろう。そういう

人が上司なら会社はある程度『仕事』をする場所になるかもしれない。つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8277d/>

行く末

2010年10月21日23時17分発行